

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-3-2 県立病院における良質な医療提供
---------	----------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	病院局県立病院課長 杉原雅行	電話番号	0853-22-5111
----------	----------------	------	--------------

事務事業の名称	中央病院による地域医療への支援		
目的	(1) 対象	県内のへき地診療所等	
	(2) 意図	地域医療機能の維持	
事業概要	へき地診療所等の医師不在を補うため、当該医療機関に対して、代診医師を派遣する。		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 代診医派遣要請の応諾率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 代診医派遣決定件数/代診医派遣要請件数	実績値	100.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	0	0
うち一般財源(千円)		

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

医師が不足する地域の医師を支援するため、学会等で不在となる場合の代診医の派遣要請に応諾して代診医を派遣している。(平成27年度：142日派遣)

## 6. 成果があったこと(改善されたこと)

県からの依頼により、へき地・離島の公立医療機関に対して代診医を派遣することにより、地域で勤務する医師に対する支援の一翼を担っている。

## 7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」  
代診医派遣要請に引き続き応諾していくために、医師の確保が重要。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
医療従事者の確保が困難な状況が続いている。
- ③原因を解消するための「課題」  
総合診療科医等の安定的な確保が必要。

## 8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

関係大学や(一社)しまね地域医療支援センターとの一層の連携を図り、医師の確保・育成に努める。

## 9. 追加評価(任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。